

第2回 社会保障・税に関わる番号制度に関する検討会 議事要旨

日 時：平成22年2月22日（月）14：30～15：45

場 所：内閣府本府5階第5特別会議室

出席者：古川元久・国家戦略室長、渡辺周・総務副大臣、峰崎直樹・財務副大臣、
長浜博行・厚生労働副大臣、尾立源幸・参議院議員 その他

1. 厚生労働省、総務省、財務省の事務方より資料に沿って説明。

2. 意見交換

○基礎年金番号の重複付番については、年3回、氏名、性別、生年月日、住所の4情報が一致するものを抽出し、解消を図っている。抽出件数は21年7月で4265件、11月で3622件であった。但し、就職の際、生年月日等が正確に届けられていない場合など、4情報が一致しなくとも重複付番となっているケースもあることから、実際の数は把握できない。

○20歳になる人に対して新たに基礎年金番号を付番する際は、住基ネットから本人情報の提供を受けるが、住民票コードを記録し、基礎年金番号と結びつけることはしていない。

○外国人については、現在は外国人登録票に基づいた情報をもらっているが、平成24年には外国人も全員住基に入る。使い方にもよると思うが、新たな番号制度が導入されると、外国人を雇用している事業主は、全員について付番することとなる。今回の番号制度の検討スケジュールによっては、改正法の施行を早めなければならない事態も出てくるのではないか。

○新たな番号制度導入にあたってのシステム改修にかかる期間については、やり方にもよると思うが、現在導入されている基礎年金番号の場合も、平成6年頃から平成9年まで約3年かかった。ほかの自治体や健康保険組合や国や自治体でない保険者も関係する話になると、かなりの時間がかかることが想定される。

○事業所得を正確に把握するには、小売店や農家の方から購入した客が、その番号を税務署に持って行くなどが必要となるが、これはあまり現実的ではないのではないか。求めようとする精度と生じる負担の兼ね合いで決まるものであろうが、ある種の幅があった方が、現実的ではないか。なお、インボイスを導入したとしても、家事経費と売上げの振り分けが分からないと、事業所得というところまでは行き着かない。

○番号を活用することにより、生活保護の不正受給がはじき出せるとか、今までは所得が分からなかったから一律給付にしていたが、所得に応じて本当に必要な人への給付ができるなど、社会保障の効率化・重点化のメリットをもっと考えるべきではないか。今で

も所得を基準に負担や給付が決められる制度が 60 程度と聞いているが、所得を正確に把握できれば、これらの制度においてもより公平な負担や給付が実現されるというメリットがある。国民の皆様にご納得頂けるように、関係省庁が協力しあって、具体的なメリットのリストなどを作るべきではないか。

- 課税最低限以下の所得については、500 万円を超えない給与支払報告書も地方税には提出されるので、地方税当局は提出される範囲でその情報を把握している。例えば 500 万円を超えない所得情報も国税に提出することとなれば、給与所得は国税でも把握できるようになる。金融所得は、政策論の範疇でもあるが、納税者の事務負担との兼ね合いもある。ストックについては各国でもあまり把握できていないようだが、金融所得のフローから逆算することは考えられる。
- 公正性という意味では多くの情報を把握すべきだが、例えば、海外の個人資産の把握などは容易ではなく、どこまで課税者に対し法定資料を求めるかという点で一定の限界が生じてくるのではないか。
- 国家公務員と地方公務員では、情報漏えいに関する罰則の程度が異なっており、プライバシー保護の確保という観点からは、地方公務員の罰則も国家公務員と同程度に引き上げるべきではないか。
- 現在は各保険者ごとに番号を振っているため、保険が変わった際に過誤調整が多く生じているが、連携した番号管理によって、調整がかなり容易になりうる。また、年金・医療保険・介護保険等の財源統合など、将来の制度をどうするかということを検討する前提として、保険者ごとに管理していて個人の保険の移行を追跡できないのは問題ではないか。
- 番号を一本化すると、プライバシー保護の観点から多くの問題が出てくることが考えられるが、全国民に悉皆的に付与される共通番号と各分野で使用される番号がひも付けられていれば、番号を一本化する必要はないのではないか。
- 本日の会議において、番号が関連づけられていないという問題がわかった。今後は、何かマザーナンバーとなるような番号を決めて、それと各番号をひも付けていくというような形で番号のあり方を検討していくことで共通認識は得られているのではないか。

※次回は総務省から住基ネットについて、また、技術的な問題や行政電子化について IT 室へヒアリングを実施する予定。

～以上～